



ストローの穴ある手づくりマスクかな

南とんぼ

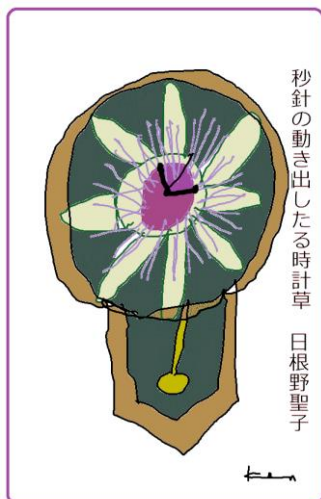
アイデアとしては抜群だね。安倍さんがこれを配っていれば支持率も上がったかも。ただ、日本人はユーモアが分からんからなあ。



千手観音百足十匹と握手

土屋泰山

虫ケラでも濃厚接触してくださる観音様に感動した。「千」「百」「十」の数字、「手」「足」の文字で遊んでいるのもいい。軽く作って重みのある作品。



秒針の動き出したる時計草

日根野聖子

文芸は本当のような嘘を書いてこそ値打ちがある。この句もそんな作品と思ったが、どうやら嘘ではないらしい。一夜にして秒針は一周するのだ。



噛み合はせ悪そな山羊や草茂る

井口夏子

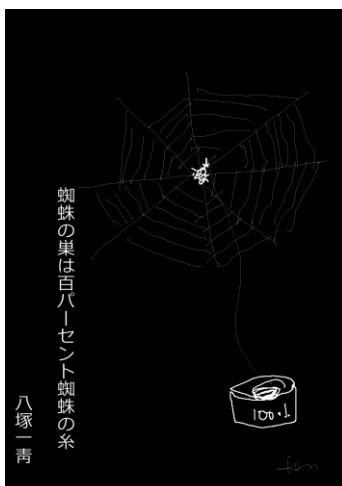
俳句の基本は観察力にある。写生という奴だ。それは表現力に依存する。それを古人は「ひねり」と呼んだ。ひねりのコツは頭をひねることである。



これ以上望まない田水ひたひた

鈴木和枝

滑稽句の技法の一つが「擬人化」である。擬人化は、作者が対象と一体化した時に生まれるが、この句の「望まない」のは、作者であり田である。



蜘蛛の巣は百パーセント蜘蛛の糸

八塚一青

誰もが知っている当たり前のことを誰も俳句にしていなかった。不思議に思う心が無かったからだ。知っていることと感じることは別なんだね。